

春日井市

スポーツ推進委員だより

題字 会長 神田 茂

第49号

平成27年3月1日

発行
春日井市スポーツ推進委員会
連絡協議会
広報部



『三世代交流グラウンド・ゴルフ大会に参加して』

スポーツ推進委員連絡協議会 副会長 山田 博

10月25日(土)、八幡小学校グラウンドに於いて八幡地区社会福祉協議会主催の第26回三世代交流グラウンド・ゴルフ大会が開催され、スポーツ推進委員10名がスポーツ巡回指導派遣委員として出向きました。

当日は絶好のスポーツ日和で日差しも強く汗をかきながらのプレーとなりました。大会は9時に開会式が始まり、10時の競技開始から13時終了までの間、区・町内会別の対抗試合で行いました。競技は東・西2コート各8コースで、各コート1回戦×4回戦に分けて東西でプレーし、各チーム2試合の対抗戦で行われました。

八幡地区のグラウンド・ゴルフ大会は我々の諸先輩方の努力でいち早く取り入れられたこともあり、今年で26回を迎え、参加22チームをはじめ総勢250名で大々的に開催されました。進行もスコアカード受付、放送、集計係等大会関係者の分担も万全に配置され円滑に進められていました。

三世代交流という事もあり、幼児から年配者に至っては91歳の方も参加されていて驚きました。特に、グラウンド・ゴルフは年配者が得意とされているスポーツという事もあり、お孫さんに日頃見せない姿で格好よくプレーされていました。一方、慣れないスポーツにお孫さん達は戸惑いながらも年配者に教えを乞いながら、後半には自信も付きハツラツプレーで競技を楽しんでいました。

競技終了後は成績発表、表彰等もありホールインワンもたくさん出てレベルの高い大会でした。主旨であった三世代は十分交流がなされ、和気あいあいの家族の姿に心温まる大会でした。

今後、この類のニュースポーツの育成を推進していきたいと思えます。

かすがいスポーツフェスティバルに参加して

スポーツ推進委員 吉村 義子

台風19号の影響で朝からあいにくの雨。そのため屋外の各種チャレンジは中止、屋内のみとなりました。「今日はどれだけの人がきてくれるのだろうか」そんな思いの中、2014スポーツフェスティバルがスタートしました。

鈴木秀司さんの親子かけっこ教室は、親子で一生懸命走る姿、特別にお父さんの頑張りが印象的でした。

スポーツチャレンジは、各コーナーの小さなお子さんから大人の方まで大勢の参加がありました。3回チャレンジのうち、1回入って喜ぶ人、1回も入らず惜しがる人、3回成功パーフェクトを出したおじいちゃん「どや顔」はとてもはつらつしてステキでした。

雨にもかかわらず参加して下さった方に感謝すると共に、スポーツの素晴らしさ、人との触れ合いの楽しさを実感できる1日になりました。ありがとうございました。



スポーツ推進委員 中島 義智

今回は、あいにくの台風19号接近で、出足が心配されましたが、開始直後の鈴木講師による「親子かけっこ教室」は、定員以上の盛況でした。子供にスポーツメカニズムによる「かけっこが速くなる」という興味を持たせるものでしたが、大人にとっても十分興味深い内容でついつい聞き続けてしまいました。親にとって、かけっこの運動メカニズムの説明は簡単ではないが聞けばなる程と思うものでした。

同じ床で親子が喜々として走っているのは観ていて楽しいものでした。

また、多種のスポーツチャレンジを体験して、楽しく遊び多くの選択肢を持たせたことは大事な事のように感じます。ただ屋外の体験をしてもらえなかった事が残念でした。

私は、バスケットチャレンジの担当でしたが、親子でチャレンジして子供のシュートが決まり、親が失敗するケースでは、子供の得意そうな顔が印象的でした。

講師／鈴木秀司氏の略歴

棒高跳び日本選手権優勝
アジア大会銅メダリスト

第33回新春春日井マラソン大会

僅差の勝利

60歳以上男子優勝 山口 幸三

レース後の順位表を見て驚いた。5秒の僅差で優勝だったからだ。もしかしたら、逆の結果になっていたかも知れないのだった。スタートラインに並ぶとき、元気に走ることができるだけでなく、もう若くはない現実を認めながらも、勝利を実現しようとする自分がいた。

中学校2年生から陸上競技を始めた。走り高跳びと2千メートルの競技に汗を流していた。あれから今日まで長い間走ってきた。ランニングは、1日のうちほんの一部にすぎないが、それによって人生が出来上がってきたのだなあと思う。ケローナ通りでは、折り返しがあり、そこで自分の順位を確認しようと試みるが、多くのランナーと応援の人ばかりでままならない。浄水場まで来ると走路はまるで巨大迷路のようで、方向感覚を失う。体育館が見える直線道路を夢中で走った。

ゴールを抜けた瞬間、首に1位のメダルが掛けられ、優勝したのだとわかった。優勝できて良かった。今ある体力で何を目指すのか、将来のレースの楽しみを思うと力が湧いてくる。



新春春日井マラソンに出場して

50歳以上女子優勝 谷口 由香

市民ランナーである私は毎週のようにマラソン大会に参加しています。2015年新しい年。私はこの春日井マラソン大会から始まりま

す。知名度が高くレベルも高い大会ではあるけれど走りがいのあるこの大会。今年から50歳以上の女子の部門ができたとのことで早速申込み、この大会に向けて練習を積んできました。目標は勿論第1回目の50歳代女子の優勝です。しかし寒さに弱い私は思うように練習できず調子があがらないうちに迎えた当日、何と晴天、風もなく暖かい絶好のマラソン日和に恵まれ気持ちも晴れやかに。そんな中、号砲がなりスタート。しばらく続く沿道の人たちのあたたかい応援を力に変えて走ります。汗だくになりながら辛くなってきた残り1キロ、真っ赤な顔をしてハアハア息を切らせて一生懸命走るジョギングの小さな子どもたちの気迫に負けじとラストスパート。50歳代女子1位のメダルをもらい、目標タイムには届かなかったけれど優勝という目標が現実となり苦しかったレースも喜びに変わりました。そしてどこのマラソン大会より立派な表彰式をしていたき感動です。来年はもちろん連覇。そして自分の記録更新です。新年のスタートに楽しい1日がありありがとうございました。

スポーツ推進委員愛知大会

スポーツ推進委員 大場 敬子

平成26年9月20日(土) 日本ガイシホールで10年表彰を頂きました。

研修会では愛知県ラジオ体操連盟の丸山先生によるラジオ体操の指導を受けました。1000名を超える参加者のため、2回に分け行われました。昨年、長時間の講習を受け、ポイントもおさえていたので、春日井のスポーツ推進委員はかなり上手にできていました。

平均寿命ではなく、健康寿命が愛知県は男性が1位、女性が3位であると先生がおっしゃっていました。愛知県の方々が健康に気を遣い、適度なスポーツをして暮らしていらっしゃるのだと思います。

皆さんが健康で暮らせる時間がのびるように、少しでも力になっていきたいと思えます。



東海四県スポーツ推進委員

研究大会に参加して

スポーツ推進委員 大原 泰昭

平成27年1月30日・31日に、愛知県スポーツ推進委員連絡協議会主管により、BOAT RACE蒲郡にて「スポーツ推進委員としての資質の向上を図り、研究大会の参加者が相互に意見交換を進めること」を目的に、東海四県スポーツ推進委員研究大会が開催されました。東海四県(静岡・三重・岐阜・愛知)より2600名もの参加者が蒲郡の地に集まり、「連携・協働による地域スポーツの推進」の主題のもと2日間の有意義な大会となりました。1日目は、競艇場という異質な場所でしたがボートレースのデモンストレーション、和太鼓「志多ら」の演奏、舞の海秀平氏のトークショーと楽しい時間を共有することができました。2日目は、4つの分科会が開催され、目的の成果を大いに感じる素晴らしい大会でした。

大会運営にあたられた委員の皆様、早朝より運営委員として参加された春日井市スポーツ推進委員の皆様ありがとうございました。

